

平成30年度第1回長浜市健康づくり推進協議会 会議録

日 時：平成30年5月24日（木）14：00～15：30
場 所：本庁舎5階 5-A会議室

【出席者】

湖北医師会：手操会長
湖北歯科医師会：川瀬会長
湖北薬剤師会：久留島副会長
湖北健康福祉事務所：山下所長
長浜市立湖北病院：西川事務局長
長浜市民生委員児童委員協議会：早川副会長
長浜市連合自治会：川崎様
市立長浜病院：土川地域医療連携室長
長浜市社会福祉協議会：鈴木介護事業課長
健康づくり0次クラブ：大橋副理事長
長浜市健康推進員協議会：白川副会長

事務局：健康推進課 横田課長・伊藤参事・小寄課長代理・森副参事・岸下副参事・松山副参事
・真壁副参事・高木主査・金戸主事

【代理出席】

長浜赤十字病院：大橋地域医療連携課長

【欠席者】

長浜市老人クラブ連合会：村上理事
長浜市小中学校教育研究会養護教諭部会：三原養護教諭

【要点録】

- 1 開会（挨拶：且本健康福祉部長）
- 2 委員自己紹介
- 3 長浜市健康づくり推進協議会について
 - ・会長、副会長の選任
会長：湖北医師会 手操委員
副会長：長浜市連合自治会 川崎委員
長浜市健康推進員協議会 白川委員
- 4 議事
 - ①健康ながはま21第4期策定概要とスケジュールについて（資料1、8、9）
 - ②長浜市の現状と課題について（資料2～4）
 - ③健康ながはま21市民アンケートの内容検討について（資料6、7）
 - ④「健康（幸）なまちづくり都市宣言（仮称）」について（資料5）

健康ながはま21第4期策定概要とスケジュールについて

（事務局説明）

会 長：自殺対策計画について協議会で決定しなければならないことはありますか？

事務局：資料8の案のとおり進めてよいか、また委員の候補について意見があればお伺いしたいです。

会 長：何か意見ありますでしょうか？

会 長：無いようですのでこの方向性でよろしくお願いします。

長浜市の現状と課題について

(事務局説明)

会 長：がん、COPDについて、喫煙が多いということで熱心に取り組んでいただいています。

肺がんの早期発見ではなく喫煙対策を一番にやるべきだと思います。最近では電子式タバコも出てきてややこしくなっています。そういったものも含めて取り組んでいただきたいと思います。また、こころ・休養分野で産後うつのことを取り上げていただきました。妊婦さんの問題もありますが、子育て支援も大きな課題だと思いますし、力を入れていただければと思います。塩分摂取についてもまだまだ少なくないということで、継続していただきたいと思います。むし歯についても食べ方・食べさせ方の問題について引き続きお願いします。

委 員：妊婦の状況についても子育てコンシェルジュで相談を受けているのですか？自殺未遂者の再企図対策については今でも行われているのですか？

事務局：子育てコンシェルジュについては地区担当保健師が担当地区の妊産婦のフォローを行っています。妊娠届が出た時から専門職が面談し、フォローアップをしています。また、うつの兆候がある方についても必ず訪問し、面談等を行い継続した支援を行っています。自殺企図については昨年度から保健所とネットワークを組み、自殺未遂者が長浜赤十字病院に救急搬送時、本人の同意の下、市へ連絡をしていただけて保健所と一緒に関わり、再企図を防止しています。

委 員：(歯について)「お茶でバイバイ むしば菌」のスローガンを色々なところで出しています。また、妊婦さんから6歳までのお子様へ無料検診を受けていただける無料券によって1.5倍の方が健診に来ていただけましたので期待しています。

委 員：(こころ・休養分野について)ゲートキーパーの啓発は何をされているのでしょうか？また、認知症サポーターというのはどういう方でしょうか？

事務局：ゲートキーパーについては昨年度は行っていませんが、以前は広報誌に出していました。また、市職員や健康推進員にもご案内しています。しかし、現状としては啓発が不十分ですので、今年度充実した啓発をしていきたいと考えています。

認知症サポーターについては、高齢福祉介護課で認知症への理解や認知症の方への声かけなどを正しく知っていただくために養成講座を取り組んでいて講座を受けていただいた方をサポーターとしています。認知症の方を見守る、適切な対応を知っている人ということでサポーターという名称でサポーターを増やすために取り組んでいます。

会 長：長浜市の認知症サポーターは滋賀県内でも多いです。

委 員：いろいろなことに適切に対策を行っていただいていると思いました。歯のことについては、むし歯対策としてお茶を飲むなどありますが、非常に効果があるのがフッ化物だと思います。厚労省や歯科医師会などの推奨もありますので検討も必要だと思います。

会 長：色々な意見があると思います。フッ素については議論が重ねられています。根拠がなかなか少なく、研究も少ない状況です。日本は火山国なので諸外国と比べてもともと摂取量が多く、お茶や魚からも摂取しています。諸外国ではフッ素の添加について色々な事故が起こっています。日本においてはフッ素について慎重に考える必要があると思います。

委 員：長浜赤十字病院ではウォークイン含めて救急に来ていただく人が少しずつ減っています。休日は休日急患診療所もしていただけており、少しずつ効果が上がっているように思います。しかし、休日急患診療所がこの冬含めてすごく忙しく、そちらに負担がかかっているのではないかと考えています。

会 長：今年の冬は特に患者数が多く、休日急患診療所は病院の医師の疲弊を軽減するのが目的の一つですが、病院に誘導しなければならない日もあったようです。内科・小児科各一人で子供が多い場合は内科の医師にも手伝っていただくようなこともあり、苦勞することもあるようです。

それなりに認知されてきていますが、休日急患診療所の内科の受診者数が増えていない状況です。しかし、例えば高齢者の方は色々な疾患を持っておられるため何でもかんでも休日急患診療所で対応とはいかないかもしれません。

救急搬送数についても全国的に問題となっていますが顕著に増加しているというわけではなさそうです。

健康ながはま 21 市民アンケートの内容検討について

(事務局説明)

会 長：経済的な背景についてアンケートにも入れていただいています。0次予防でも社会経済的な背景を調べるために質問を取り入れていますし、年収・学歴は死亡率の違いにも出てきています。例えば問4の箇所です。20歳以上の方で、成人になっておられる方の最終学歴を聞きやすい形で聞いていただくと背景もわかるのかもしれませんが。

委 員：自分なりにアンケートを回答してみたが時間がかかりました。16歳以上3000人に答えていただくとのことですが、今までの回収率はどうだったのでしょうか？また、質問が多いと回収率が下がるのではと心配をしています。

事務局：回収率については平成25年時には4割の回収率でした。質問数が多く、回収率の懸念もございます。これから見直すにあたって最低限の質問で集約しています。

会 長：何のために聞くのかが大切だと思います。

委 員：資料7の「食べること」に関するアンケートは学校全体ですか？

事務局：現在は旧長浜地域、旧東浅井地域、旧伊香郡地域でそれぞれ一校ずつお願いしたいと思っています。(検討が必要)

委 員：「食べること」に関するアンケートによる考察がどのように計画に盛り込まれるのでしょうか？

事務局：前回計画の食育計画で目標値の指標を作っていて、郷土食については郷土の食事を知ることによって地域の食事に関心を持っている子どもが育つようにという思いを含めています。また、食育計画には地域の食材を収穫するところから関心をもつことによって食育を進めようという考え方があります。

委 員：食に対する感謝ということですね。

会 長：食のことや歯のことなど、学校教育の方ではアンケート等で聞いておられないですか？あればむし歯の多い学校、少ない学校比較して違いをみることもできます。その辺りも踏まえて進めていただければと思います。

委 員：学校ではそこまで詳細なアンケートはできていないと思います。およそ10年前に大規模なアンケートをしていたと思います。

委 員：健康ながはま21のアンケートについて、無作為で対象者を選ぶのでしょうか？回収率が4割あればいいと思います。

会 長：他に気づいたことがあれば事務局に言ってください。

「健康(幸)なまちづくり都市宣言(仮称)」について

(事務局説明)

事務局：都市宣言については長浜市として宣言することで健康づくりを推進している都市であるということ内外に示していくために検討しています。

長浜市の本当の課題をとらえた計画・都市宣言の取組を進めた方がいいのではというご意見も

ありますのでこういった特色がある方がいいというご意見を教えていただきたいと思います。
今年1年取り組みを進めていく中で委員の皆様や、皆様の所属されている機関からこういうことが課題ということをお伝えいただくとありがたいと思っています。

5 閉会（挨拶：健康推進課長）